

疫学研究のお知らせ

1. 研究の名称：静脈血栓塞栓症患者の診療実態とその予後を検討する多施設ヒストリカルコホート研究
2. 研究の審査と許可：本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会、および兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。
3. 研究責任者：京都大学医学部附属病院 循環器内科 特定助教 山下 侑吾・教授 木村 剛
4. 研究の目的と意義：静脈血栓塞栓症（肺塞栓症という肺の血管に血の塊が詰まる病期、および深部静脈血栓症という体の中の深い所に存在する静脈に血の塊ができる病気）と診断された患者さんの症状と治療の方法、その後の経過を評価する事を目的とし、日本人の静脈血栓塞栓症の一番良い治療方針が明らかになる意義があります。
5. 研究の実施期間と方法など：2015年1月1日から2020年8月31日までに、静脈血栓塞栓症（肺塞栓症および深部静脈血栓症）と診断された患者さんの診療録と治療経過データを解析します。本研究では、主に診療録を用いて調査を行いますが、診療録で不明な点については、紹介医への連絡または患者さんへの連絡を行わせて頂く場合もあります。共同研究機関からの情報を含めて収集された情報は、京都大学医学部附属病院：循環器内科のデータセンターにて保管されます。研究の成果は、専門の学会や学術雑誌に発表を行いますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。データの取り扱いには慎重に配慮し、患者さんの個人に関する情報（氏名等）が外部公表されることは一切ありません。
6. 研究拒否や研究に関する問い合わせ：本研究の対象となることを拒否される際には、主治医、あるいは下記の問い合わせ先までお申し出ください。拒否された場合には、診療情報が研究に用いられることはなく、拒否されたことにより不利益を被ることも一切ありません。
7. 研究の計画書や研究の方法に関する資料の入手や閲覧に関して：本研究の詳細な計画や方法に関しては、他の研究の対象者の方等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で資料の入手や閲覧を行う事が出来ます。ご希望される際には、書面でのご連絡を受け付けておりますので、メールまたは郵送・FAX でのご連絡をお願いします。
8. 研究資金・利益相反：本研究の研究資金は、厚生労働科研費により賄われています。利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。
9. 問い合わせ先：
<院内相談窓口>
兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科
研究責任医：西本 裕二
TEL 06-6480-7000（代表）